

口腔保健学 学士申請サポートコース

(口腔保健衛生学)

リスクを応援します!



口腔保健学(口腔保健衛生学) 学士申請サポートコースの3つのメリット

1. 「学士(口腔保健学)」の申請に必要な単位を無理なく修得可能
2. 学位授与機構への申請に必要な『学修成果(※)』の作成を見据えた論文指導
3. 卒業と同時に「学士(人間科学)」も取得

※学位修得を希望する分野のテーマを自ら設定して作成するレポート

取得可能学位と対象者

取得可能学位	対象者(以下の基礎資格を有する方)
学士(口腔保健学) ※	歯科衛生士 「資格」を養成する短期大学を卒業または専修学校専門課程(専門学校)を修了した方*

※卒業後、大学改革支援・学位授与機構にご自身で申請し、合格することで取得できます。

※卒業時には学士(人間科学)が授与されます。

*専修学校専門課程を修了した方が編入する場合、以下の要件をすべて満たす必要があります。

- ①高等学校等を卒業し、大学入学資格を有すること
- ②出身の専修学校専門課程(専門学校)が、卒業の時点で以下i)～iii)の全てに該当すること

- i) 専修学校専門課程の認可を受けている
- ii) 修業年限が3年以上である(4年次編入)
- iii) 【4年次編入】修了は2,550単位時間以上(単位制及び通信制の場合93単位以上) 必要な課程

*昭和50年以前に修了した方は、専修学校専門課程修了者に該当しないため既修得単位の認定はできません。また、昭和51年以降の修了であっても専修学校専門課程の認可を受けていない場合がありますので、必ず事前に出身校にご確認ください。

修業年限

1年(4年次編入学・4月または10月入学)

単位認定

既修得単位 93 単位を認定(4年次編入学)

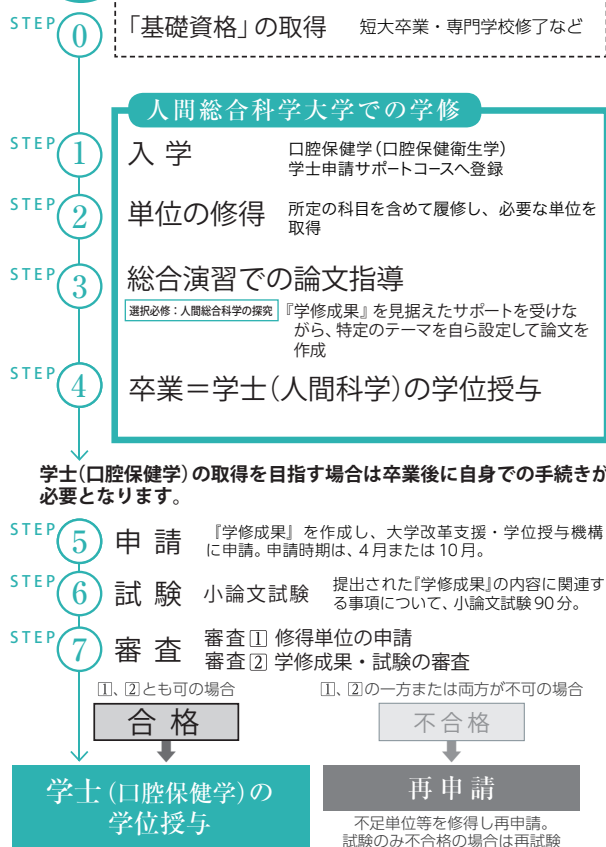
入学選考

書類選考(入学志願動機書(小論文))

※出願については募集要項をご確認ください。



入学から学士取得までの流れ



4 年次選択必修科目 総合演習：人間総合科学の探究

担任・指導教員がつき指導を行います。4 年次に総合演習「人間総合科学の探究Ⅰ・Ⅱ」で指導を受けながら論文を作成していきます。一人では難しい、論文の書き方、テーマの設定などを相談できるので、自信を持って卒業後の申請に向けた準備を進めることが可能です。

■ 4 年次編入履修モデル 人間理解の知識と実践能力を身に着け、最短 1 年で学士(口腔保健学)の申請を目指します。

4年次 (31単位)	前期	人間総合科学大学でのマナビ (N) ヒューマンーいのちと健康の関係 (N) こころとからだのつながりと病気 (T) 総合演習 (人間総合科学の探究Ⅰ)	ヒューマンー人間のこころとからだ (N) 心身健康科学ーこころとからだの健康科学 (T) (N) 高齢社会における福祉・医療 (T)
	後期	ヒューマンー環境・社会といのちのつながり (N) 心身健康科学ーいのちの運用論 (T) ストレスと健康 (N) 総合演習 (人間総合科学の探究Ⅱ)	ヒューマンー未来社会の幸福 (T) 栄養と心身の健康 (T) チームワーク論 (N)

※ T：テキスト履修，N：インターネット履修
※ 科目が変更になる場合があります。

■ 3 年次編入も可能です。

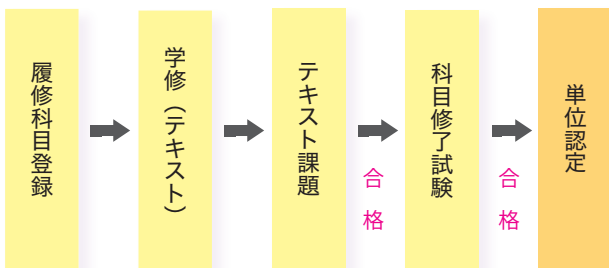
学士（口腔保健学）取得に向けて、成果物作成に向けた文章能力、文献情報の収集を鍛え、資格を有効に活かすための幅広い人間理解の知識と実践能力を身に着けることができます。

■ 学修の進め方

テキスト履修 と スクーリング履修の 2 つの学修方法があります。前期・後期のセメスター制です。

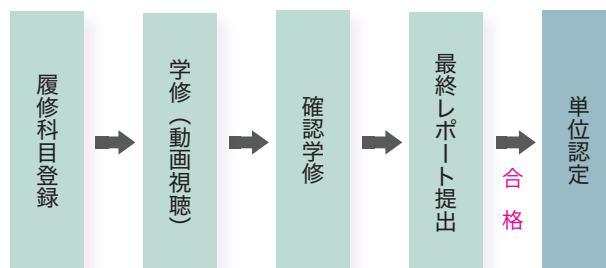
T：テキスト履修

配本される教科書とネットによるテキスト課題提出によって学修を進めていきます。



N：インターネット履修

インターネットで配信される動画視聴と最終レポート提出によって学修を進めます。



学修はテキスト及びパソコンやスマートフォンを活用した動画視聴で行われます。試験はすべてインターネットで行われるため、自宅で受験できます。本学で受ける授業（対面式スクーリング）も用意しておりますが、インターネット授業を選択すれば一度も大学に来なくても卒業することが可能です。

■ 学費（2026年4月入学生より）

入学科	編入料	授業料（年額）	システム管理・維持費（年額）	合計（年額）
35,000円	100,000円 0円	290,000円	50,000円	475,000円 375,000円

※ その他、入学検定料（10,000円）とテキスト代が別途必要となります。

FGOS251204

